

●はじめに

日頃から格別のお引き立てを賜りまして厚く御礼申し上げます。
このドキュメントには、DataNature Smart Personal の動作環境、追加された機能、変更点、注意点を記載していますのでご一読ください。

●商標

記載の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

システムの稼動条件

●OS

Windows 8.1 ※1

Windows 8 ※1

Windows 7

Windows Vista(SP1 以上)

●メモリ

推奨 4GB 以上(最低 2GB 以上)

●HD 容量

1GB 以上の空き容量(インストール時)

●ディスプレイ

1024×768 ドット以上

●必要なソフトウェア

Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1 以上)

※1: タッチパネルでの操作には非対応です。

2.2.0 で追加された機能・変更点・注意点

●共通

- ・ナビゲーションパネルにて、各種表示の ON/OFF を切り替えられるよう改善しました。

●ようこそ画面

- ・ようこそ画面起動時のファイルの存在チェックの処理を改善し、起動速度を向上させました。
- ・ウィザードボタンの配置を見直しました。

●テンプレート

- ・テンプレート一覧参照ボタンのデフォルトを << に変更し、また展開状態をテンプレートに保存出来るよう改善しました。
- ・直前に実行されたテンプレートが選択された状態でダイアログを表示し、テンプレートの更新がより簡単に行えるよう改善しました。

●ボタン分析

- ・増殖ボタン設定ダイアログの初期サイズを大きくし、カラム（表示名称、データの有無

特殊ボタン数)を追加しました。またカラムクリックによる名称順のソートを追加しました。

- ボタン分析画面からクロス集計表への遷移時、数値順で設定されている分析列が表の構成要素であって、かつ、「平均」、「有効件数」を使用している場合も集計表でのデータ並び順へ適用されるように、集計方法を自動選択する機能を追加しました。
- 分析項目列毎の検索ダイアログで、初期フォーカス位置を「検索する文字列」テキストボックスに変更しました。
- ランキング結果による集約が設定されている場合、データの並び順も自動的に数値順に変更する様に改善しました。

●クロス集計表

- 階層一括展開出力時に「親階層の集計値を隠す」の設定が反映される様に改善しました。

●リスト集計表

- リスト集計表で列の範囲枠と同じように行の範囲枠を指定できるよう改善しました。

●集計表

- 条件付き書式の「集計項目に対する設定」にて、対比集計項目を対象として指定できるよう改善しました。
- 有効データが存在する表示セルの数を取得する関数を計算式に追加しました。
- ランキング結果による集約が設定されている場合、データの並び順も自動的に数値順に変更する様に改善しました。
- データの並び順（参照データ順）で指定された参照項目の型属性が数値である場合、数値として取り扱い、並び順を決定する様に改善しました。
- 参照項目の表示位置を対象データの左右に配置したとき、列幅自動時に対象データと参照項目の文字列長で列幅を再計算するように変更しました。
- 対象データ領域に表示される任意の列における選択データの表示順序を、その列のデータ表示順に応じた並びに編集して表示するように改善しました。尚、日付項目と時間項目は対象外です。

●グラフ

- 切り替えサイドバーの状態をテンプレートに保存出来るよう改善しました。
- グラフの種類を選択ダイアログとグラフフォームが連動するように改善しました。

●印刷・プレビュー

- グラフが全画面表示の場合にプレビューに移行した場合、グラフ出力を常に「グラフのみ出力する」とする様に仕様を変更しました。
- クロス集計表の印刷/PDF出力、及びそのプレビューで、各階層の行列合計欄に背景色を付けるか否かの設定を行えるようにしました。
- 印刷プレビューで行（項目名称行、データ行）の高さと列幅を調整することで印刷時のセル内の文字列を折り返し表示が可能になりました。

●不具合対応

- 最初に読み込んだデータよりも列数が少ないデータを追加読み込みするとエラーとなる不具合に対応しました。
- データセクターの時間項目が利用する時間によっては意図した動作をしない不具合に対応しました。
- クロス集計表で列幅の設定がテンプレートに保存されない不具合に対応しました。
- 加工列の引用で分割文字に全角文字を使用すると、分割が行われない不具合に対応しました。